

平成30年度 下越地区中学校卓球大会 要項

- 1 期 日 平成30年7月4日（水）・5（木）
 2 会 場 新発田市カルチャーセンター 〒957-0054 新発田市本町 4-16-83 (0254-23-3050)
 3 主 催 新潟県中学校体育連盟 下越地区中学校体育連盟
 4 共 催 新発田市教育委員会
 5 主管（協力） 新発田市中学校体育連盟
 6 後 援 新発田市スポーツ協会
 7 日 程

	1 日 目	2 日 目
開 場	8 : 0 0	8 : 0 0
受 付	8 : 1 0 ~ 8 : 3 0	8 : 1 0 ~ 8 : 2 0
監督会議・公式練習	8 : 3 0 ~ 9 : 0 0	8 : 2 0 ~ 8 : 5 0
開 会 式	9 : 0 5 ~ 9 : 2 5	
会場準備	9 : 2 5 ~ 9 : 3 0	
試合開始	9 : 3 0	9 : 0 0
終了予定	1 6 : 0 0	1 5 : 3 0
閉会式予定		1 5 : 4 0 ~ 1 6 : 0 0

- 8 組合せ 6月18日（月）午前9：30～ 新発田市立東中学校にて、専門委員で行う。
 9 チーム 監督1名、コーチ1名（当該校教員または外部指導者）
 選手10名、マネージャー1名（教員または生徒） 計13名
 10 出場数（郡市大会から下越大会への出場枠）
 団体戦16チーム（各郡市4チーム）、個人戦64人（各郡市16人）
 11 試合方法 （1）団体戦・個人戦とも1試合11点5ゲームスマッチとする。
 （2）団体戦 ○4シングル 1ダブルス ダブルスを3番に置き6名で構成する。
 ○男女別の全校在籍生徒数が4・5名でも出場できるが、オーダーは次のように置き、該当校は監督会議で申し出る。
 5名→2・3・4・5番、4名→3・4・5番
 ○**申し込み時点で選手数が6名に満たない場合は、出場資格がない。**
 （3）個人戦 男女別トーナメント
 12 試合日程 原則的にタイムテーブルによって、試合を進行する。タイムテーブルより遅れた場合及び遅れる恐れがある場合は、時間とコートを変更する場合がある。
 1 日目 ○個人戦（1、2回戦）
 ○団体戦予選リーグ（1リーグ4チーム総当たり）と団体戦ベスト8による決勝リーグ進出決定戦
 ※予選リーグ2位のチームは、予選リーグの対戦校との対戦を避け、抽選で決勝リーグ進出決定戦の対戦校を決める。
 2 日目 ○団体戦決勝リーグ
 ○個人戦（3回戦から決勝まで）
 ※個人戦は、シード権（3～8位）決定戦を行う。
 13 申 込 参加校は所定用紙に記入し、6月13日（水）16時必着で当該郡市中体連事務局まで参加料（一人300円）を添えて申し込む。あわせて、**デジタルデータを下記メールアドレスまで送信する。master@higashi.shibata.ed.jp**
 14 表 彰 団体戦3位まで（1、2、3、3位）
 個人戦5位まで（1、2、3、3、5、5、5、5位）
 15 県大会出場 男女とも団体戦上位3チーム 個人戦ベスト16
 16 競技上のルール及び注意事項

- ルール** 平成29年1月1日改正の日本卓球ルールと本大会要項による。
- 試合球** 日本卓球協会公認球のニッタクプラ3スタープレミアム(40mm)を使用する。
- 選手**
- ①選手は、プレー領域では短パン、ユニフォームでゼッケンを正しく着用する。ユニフォームの裾は、短パンの中に入れる。
 - ②ラケット、ラバーは正規のものを使用する。違反の物は使用できないので、ラケットは取り替え、ラバーは貼りかえる。なお、ラバー破損の判定は、内部に破損箇所がある、もしくは縁なら3mm程度の破損が3つ以上ある場合をめどとする。
 - ③ラバーを貼りかえる必要が生じた時は、次のことを守ること。
 - 決められた接着剤または、接着シートであること。
 - 指定された場所で貼ること。
 - ④団体戦の第1試合では、選手のユニフォームをそろえることが望ましい。
 - ⑤選手は原則的に自分の試合が終了するまでプレー領域を出てはいけない。
- ゲーム**
- ①不正サービスと判断した時は、1回目注意、2回目からはボールストップをかけ、審判長の判断をおおぐ。特に次の2点に注意。
 - 手のひらから16cm以上の高さにボールをほぼ垂直に上げ、最高点から落下する途中で打つ。
 - サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつサーバー側のエンドラインの後方になければならない。またその間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。さらにボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドと腕を、ボールとネットの間の空間の外に出さなければならない。
 - ②1マッチに1回1分以内でタイムアウトをとることができる。タイムアウトを要求できるのは、団体戦では監督・競技者・組、個人戦では競技者・アドバイザーである。
 - ③競技の進行を故意に妨げない。(タオルの使用・眼鏡ふき等は6本ごと、ゲーム間の休憩は1分以内、サービスをする前などに床に何回もボールをつかない。)
 - ④団体戦のアドバイスはベンチの誰から受けてもよい。個人戦のベンチに入るアドバイザーは1マッチ1名とする。(マッチ途中でのアドバイザーの交代はできない。)
 - ⑤応援は、バッドマナーにならないように注意する。フラッシュ・ストロボ撮影は禁止。
- 注意事項**
- 練習は公式練習のみとする。
 - 1日目は、昼食時間は設けない。
 - スポーツドリンクは可。ただしフロアにはペットボトル・スクイズボトル等で持ち込む。
 - 選手宣誓は前年度団体戦優勝校(今年は男子=村上市立荒川中学校)

17 競技役員

競技委員長	中村 聡 (紫雲寺中学校長)
競技副委員長	廣澤 正文 (紫雲寺中学校教頭) 田中 正朗 (下越地区専門部長)
総務	田中 正朗 (新発田東) 須貝 則明 (新発田川東) 加藤 廣章 (黒川)
	近 忠浩 (荒川) 船浪 武男 (五泉北) 中村弥有紀 (水原)
	長沢 直行 (関川) 鈴木 隆士 (阿賀津川)
審判長	<後日決定>
審判	<委嘱後決定>
進行	<後日決定>
記録	<後日決定>
審判割	<後日決定>
県大会申込受付	田中 正朗 (新発田東)
式典・会場	江口麻衣子 (本丸)
救護	<後日>

18 生徒役員

式典・救護・会場・記録・補助員(カウンター)は協力校・専門委員の学校の卓球部員で構成する。

19 その他

①個人戦のアドバイザーは最大で出場選手数まで登録でき、どの選手にどのアドバイザーが付いても

よい。登録された外部コーチも同様である。

- ②コーチ、アドバイザーについては当日の変更を認める。(監督会議で申し出る。)
- ③「下越地区大会参加における申し合わせ事項」を守る。
- ④緊急病院名 <大会プロに記載>